

さあ、保険の新次元へ。

**T&D 保険グループ**

# INFORMATION

T&D情報システム株式会社

2021年12月27日

日立ITユーザ会第58回大会論文で、  
当社従業員が執筆した論文が優良賞などを受賞しました。

日立ITユーザ会(\*)主催の第58回大会論文で、当社従業員が執筆した論文が優良賞などを受賞しました。

■一般論文の部【優良賞】

- 新たなテクノロジーを活用した業務革新施策を実現するデジタルプラットフォームの構築
  - ・平山敦士職員、池田達則職員  
(テクニカルサポート二部  
(執筆時所属、以下同様))
  - プログラムマネジメント手法を参考にした生命保険料経理処理案内システムの法改正対応
    - ・廣井暁生職員、阿久津英輔職員、六尾祥職員、古谷寧子職員(事業三部)



受賞した池田職員(中央左)、平山職員(中央右)

■小論文の部【優秀賞】

- データウェアハウスシステムのクラウド基盤への移行
  - ・山中龍太職員、森本史明職員  
(テクニカルサポート二部)

■若手チャレンジ(30歳未満を対象)論文の部【優良賞】

- 要件定義力向上に向けた取り組み
  - ・山下真輝職員  
(事業三部)

■受賞者のコメント

・当社にとって新たな取り組みであった、パブリッククラウドでのシステム構築における検討事項や問題点、導入効果が伝わる論文となるよう心がけました。プロジェクトのメンバーの努力が伝わり、論文が評価されたことをうれしく思います。(平山敦士職員)

・限られた費用、開発要員、開発期間でのプロジェクト遂行に向けた計画策定について、当時の検討経緯などを整理し、「プログラムマネジメント手法」に取り組んだ事例として論文にまとめました。自身の仕事を振り返り、それを第三者に評価いただいたことで非常によい学びの場となりました。(廣井暁生職員)

・本論文は、データウェアハウスシステムのクラウド基盤への移行について執筆しました。クラウド基盤への移行で直面した課題と、そのアプローチを整理することで、取り組み内容を見返すよい機会になりました。クラウドサービスを活用した迅速かつ柔軟な対応を行うことができ、そして課題解決に向けたプロジェクトメンバーの努力が伝わり、よかったです。今回の大会論文に参加でき、また、論文が評価されたことをうれしく思います。(山中龍太職員)

・本論文では、大同生命本社への出向を通じて、ユーザ理解を深めることで要件定義力向上に取り組んだ施策について執筆いたしました。論文執筆を通して、ユーザ部門で学んだことをシステム開発にどうやって活かすかを考えることができ、とても良い機会となりました。また、論文が評価されたことをうれしく思います。(山下真輝職員)

(\*)1964年5月に発足した日立グループのITサービスを利用するユーザによって組織・運営されている団体。大手金融機関をはじめ、各種企業・学校・公共団体など全国で約1,100が参加。

以上

本件に関するお問合せ先

T&D情報システム株式会社

経営企画部 経営総務課 048-825-6101